

令和3年度土地家屋調査士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の土地家屋調査士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

○ 午前の部

【第11問】

- 問1 夾角及び距離から座標値を求める計算の基本的知識
- 問2 座標値から夾角及び距離を求める計算の基本的知識
- 問3 座標値並びに三角形の内角及び辺長から座標値を求める計算の基本的知識
- 問4 座標法による面積計算の基本的知識（2直線の交点の座標値を求める計算の基本的知識を含む。）
- 問5 図面の正確な作成

○ 午後の部

【第21問】

- 問1 問題文に記載された事実関係及び資料に基づき、既知点の公共基準点と測量によって得られた観測値よりA点の座標値を算出し、隅切剪除長及び方向角よりC点の座標値を算出し、並びに交点計算によりH点及びL点の座標値を算出することを求めるもの
- 問2 地図に準ずる図面についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの
- 問3 問題文に記載された事実関係及び資料から、相続人の一人が他の相続人を代位して土地の分筆の登記を申請すべきことを読み取った上で、申請情報（代位原因等を含む。）及び添付情報の内容並びに登録免許税の額についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの
- 問4 問題文に記載された事実関係及び資料から、問3の登記の申請書に添付する地積測量図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの

【第22問】

- 問1 問題文に記載された事実関係及び資料から、建物区分の登記を申請すべきことを読み取った上で、申請情報及び添付情報の内容についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問2 問題文に記載された事実関係及び資料から、区分建物区分の登記を申請すべきことを読み取った上で、区分後の各建物の床面積の割合より各建物について存する敷地権の割合を算出することを求めるとともに、規約の定めにより当該敷地権の割合とは異なる割合とすることができる旨及びその場合の添付情報についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問3 問題文に記載された事実関係及び資料から、問1の登記の申請書に添付する建物図面及び各階平面図の正確な作成（図形の正確な描画を含む。）を求めるもの